

# 理事長基本方針

2014 年度理事長 二 方 道 正

1949 年、日本に誕生した青年会議所は、日本の将来を想い、戦後の焼け野原からの復興に全力で英知と勇気と情熱を捧げ、本気で、国を再建しようとした若者たちによって創られました。青年会議所の創始の志は正にここに 있습니다。多くの先人達が見返りや称賛を求めず、自らの我を捨て、世の為人の為に、正に日本人の美德とされる無為な善行為によって、戦後の日本は目覚ましい復興を遂げ、現代では世界から「美しい日本」と称賛されるようになりました。今、私たちは改めてこの美しい国日本に生まれ、私の存在と立場があることに心からの感謝を持たなければなりません。

我々の暮らす豊岡には、コウノトリが舞う大空と、海と山と川に囲まれた豊かな大自然が悠然と佇んでいます。また、長い歴史に培われた文化や自然と調和した情緒ある街並みがあり、その一つひとつが世界へ誇ることでできる魅力であり宝であります。近年は高速道路等の交通網や I T インフラも整備されつつあり、1961 年に創立された豊岡青年会議所の先輩諸兄が思い描いてこられた「まち」も少しずつ形を整えつつあります。

しかし、反面で個の自由や豊かさが物質や金銭でのみ表されるような価値観が蔓延し、過疎化や少子高齢化は企業自体の存続問題をはじめ、まちの将来にどこか閉塞感漂う不安な影を落としています。社会生活面においても、地域コミュニティの希薄化が進み、人の繋がりさえも崩壊へと向かっているように危機感を覚えます。真に素晴らしいまちは、多くの素晴らしいひとによって創られています。我々 Jaycee は、その砦となって、日本人の美德を重んじつつ、次代を切り開く先駆者とならなければなりません。

## 徳器成就～道義正しき勇者たれ～

本年度はこの言葉をスローガンに掲げます。

かつて、日本が誇りにしていた道徳論が、戦後の思想教育として誤った教えであるとの GHQ の占領政策により、タブー視されてきました。しかし、便利さや豊かさを追求するあまり個人の価値観が先行し、私利私欲の考えが蔓延する一因となったことは言うまでもありません。本来、日本人の美德とは、世の為人の為に一生懸命に汗をかくことであり、そこから生まれる相手を信じる心、思いやる心、感謝する心であります。何が起ころうともおかしくない時代だからこそ、己を律し、揺らぐことない強い心の柱を構築することが大切であると考えます。

我々の青年会議所活動の最大の目的は、「明るい豊かな社会の実現」であります。だからこそ、指導者訓練を基調とした修練によって人格を高める事が必要なのであります。JC の活動は常に世間から見られていることを忘れてはいけません。我々組織の人間だけが変革するのではなく、多くの機会を通じて広く JC としての運動を伝播し、市民の心に積極的変化をもたらす事も必要です。また、このまちの次代を切り開く世代に対しても働きかけ、日本人が本来持っている正しき心を伝え、次代を担う人材へと育んでいかなければなりません。

私たちは JC というフィールドで、多くの気づきや見識を高める学びを与えられています。その中でも、全メンバーが集う例会は、我々の想いを共有し更に資質を高める最高の場です。この与えられた機会を真摯に受け止め、伝統を継承する凜とした例会を行います。また、各事業や委員会等は、メンバーの貴重な時間を頂いているということを忘れずに、しっかりと準備を心掛けます。世界規模の組織である JC は国際交流の機会に恵まれています。特に、大韓民国全州青年会議所との姉妹交流は、国交正常化後、間もなくからの交流である意味合いを考え、先輩諸兄に感謝の心を捧げ、国家間の諸問題に動じることなく草の根的姉妹交流を継承して参ります。どの事業を計画遂行するにも全力で考え実践へと導くメンバーが必ずいます。役職を受けたからではなく、メンバー同士の繋がりや深さが組織の本気度を増し、伝播力の強さとなります。つまり、大目的成就には志を同じくして、共に大粒の汗を流す力強い仲間が必要なのです。メンバーは、今一度、自らを問うて頂きたい、自身に運動を語る資格があるか、説得力があるのか、本気なのか・・・。

忘己利他の精神で本年度も確実な一歩を標して参りたいと思います。

以上の想いを実現するために、本年度は以下の通り 6 つの委員会で取り組んでいきます。

- ・総務委員会  
要の委員会として各委員会と連携を密にし、円滑かつ効率的な LOM 運営を行います。
- ・国際関係委員会  
大韓民国全州青年会議所との姉妹交流を継承し、2016 年に迎える姉妹交流 50 周年に向けた展望を共有します。また、世界平和のための草の根交流の在り方について考えます。
- ・広報委員会  
広報誌「絆」の充実を図り、600 号記念誌を発行します。また、ホームページや SNS 等の充実を図り LOM の活動を広く発信すると共に、メディアを通して PR します。
- ・会員交流委員会  
会員相互の親睦をはじめ、OB 諸兄との交流を推進します。また、上部団体、各種団体、各地青年会議所との交流の窓口となります。
- ・指導力開発委員会  
LOM の次代を担う新会員の育成を行います。また、その姿を通して LOM メンバー全員の会員意識の高揚を図ります。
- ・美徳教育継承委員会  
次代を担う世代に、日本人の心を醸成する事業を行います。また、青少年の心の在り方・持ち方について調査・研究を行います。

2014 年度は創立 53 年目を迎えます。今一度、一般社団法人豊岡青年会議所としての、地域での存在、組織としての在り方を確立していくために、LOM 理念創出特別委員会を設置し、原点に立ち返り、中長期的な運動ビジョンの構築、並びに活動について検討し、今後、LOM の在るべき姿を標します。また、メンバー全員の当事者意識を持続できる手法を提案すると共に、この素晴らしい組織を永遠に繋げていく為にも、会員拡大に関してのとりまとめ及び推進を図り、全メンバーで会員拡大を行っていきます。次代を担う同志に我々の本気を伝えていきます。

我々、豊岡 J C は兵庫ブロックはもとより、近畿地区、日本に数ある LOM の中でも範とされるような集団でなければなりません。「修練」・「奉仕」・「友情」という J C の三信条がありますが、我々の活動にあてはめるならば、事業構築の中で、其々のメンバーが持つ個性を融合し、最も相応しい内容に仕上げる事が「修練」であり、実際の事業実施こそが「奉仕」、そこで生まれる利他の心からなる絆こそが真の「友情」であると私は考えます。この三信条が揃ってこそ J C 運動の発信となるのです。

2014 年度、良き伝統を継承する中で、現代社会を考え、あたりまえの事があたりまえにできる人間として、一人ひとりの胸に熱く漲る想いを結集する事で、より強い LOM となるべく運動を展開して参ります。

**勇者とは、心に定めし一筋の道を迷わず歩む者を言い、  
弱者とは自らの利に溺れ道に迷う者を言うなり。  
勇者となりて弱者となる勿れ。**

さあ 真の日本人として、豊岡 J C メンバーとして、この一年、本気で向き合い、本気で悩み、本気で行動していこう。道義正しき勇者として・・・